

A photograph of a dense forest with tall, slender trees and lush green foliage. Sunlight filters through the canopy, creating a bright, glowing effect in the center of the image.

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人
聖徳園

目 次

I.	社会福祉法人聖徳園 理念・基本姿勢	2
II.	法人ミッション・中長期経営ビジョン	3
III.	令和3年度事業総括	4
IV.	業務改善の取り組み紹介	8
V.	地域貢献活動	9
VI.	組織図	10
VII.	職員数	11

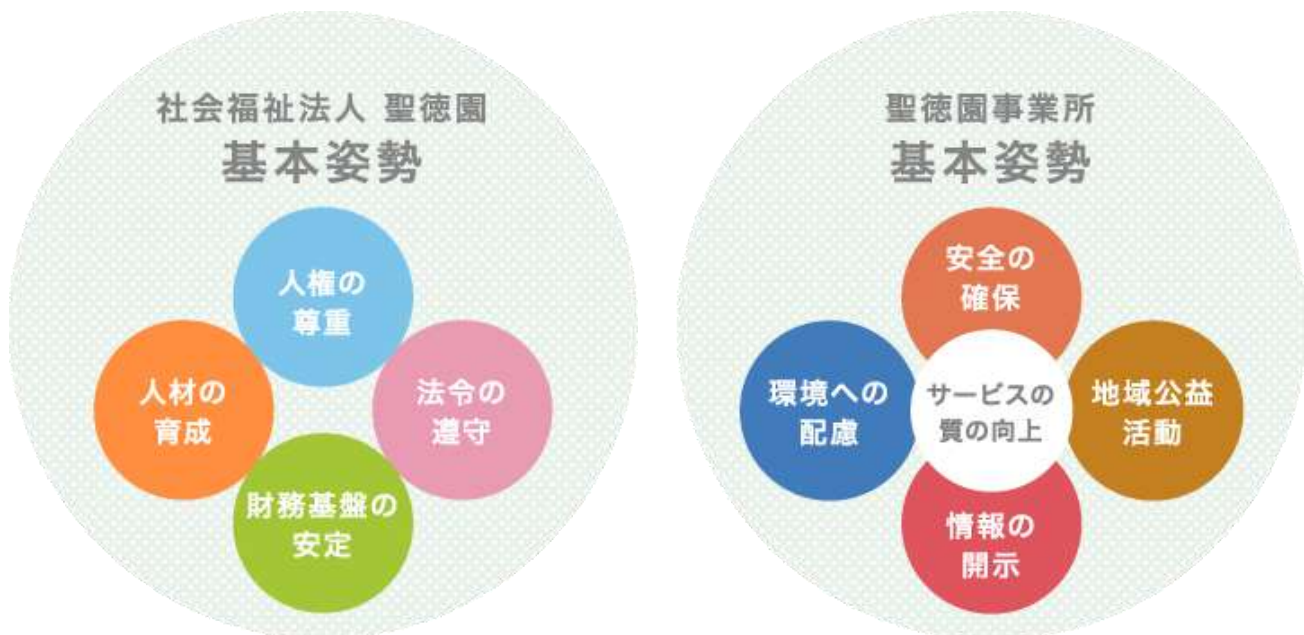
法人理念

社会福祉法人 聖徳園 福祉観

人々の期待に応え 高い信頼を得るために

- 一. ヒューマニズムにたって高度な専門性を持って人のためにつくします
- 一. 子どもの輝く成長を願い 高齢者・障がい者の良質な生活を支えます
- 一. 地域に目を向け 福祉の係わりを見つけ取り組みます

基本姿勢



経営方針

常に業務の改善により前進します

法人ミッション

子どもたちの成長と高齢者・障がい者の方々の良質な生活を支援するとともに、地域に住む一人ひとりが支え合い、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、社会のニーズにチャレンジ精神で取り組み、新たな事業・サービス活動の創造に挑戦します。

中長期経営ビジョン



事業総括

令和 3 年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部事業や地域貢献の一時休止に見舞われながらも、各事業所において感染症対策を徹底し、感染症拡大防止と必要なサービス提供の両立に努めた。一方、中期経営計画は 2 年目を迎え前年度に引き続き、サービス品質の向上および健全な財務基盤の構築等、目標達成に向けた重点課題への取り組みを遂行した。

ひらかた聖徳園在宅事業部門では、通所事業の再編・強化を目的として、ひらかた聖徳園デイケアセンターのフロア改修および浴室新設を実施し定員拡大を図り、ひらかた聖徳園デイサービスセンターを閉鎖し、事業をデイケアセンターに統合するとともに、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業を同一建物に移転した。

長野しょうとく園では、園舎建替えプロジェクトが本格始動し、補助金確保、新園舎の基本設計、仮園舎への一時移転等を精力的に遂行した。また、ワークメイト西宮地区では、令和 5 年度の新施設の開設に向けた補助金申請等、準備を進めるとともに、開設に伴う西宮地区全体の事業再編の検討を開始した。

令和 4 年度は、ウィズコロナ時代に適応した事業運営に取り組むほか、最終年を迎える中期経営計画を着実に遂行していく。

法人全体の重要事項 実施報告

- ◎「ひらかた聖徳園デイケアセンター」のフロア改修工事および浴室新設工事の実施
「ひらかた聖徳園デイサービスセンター」を「ひらかた聖徳園デイケアセンター」に統合
- ◎「旧ひらかた聖徳園デイサービスセンター」建物の事務所改修工事の実施
枚方地区における高齢者在宅事業（訪問看護、訪問介護、居宅介護支援）の事務所移転
- ◎老朽化に伴う「長野しょうとく園」の補助金申請および交付決定
- ◎令和 5 年開設予定 ワークメイト西宮南（仮称）の補助金申請

主な活動実施報告

- ◎理 事 会：5 月 26 日、6 月 11 日、6 月 26 日、11 月 30 日、3 月 18 日
- ◎評議員会：3 月 25 日、6 月 26 日、10 月 22 日

■ 中期経営計画の遂行と事業継続計画（BCP）の策定に向けて

福祉を取り巻く様々な環境変化に対応するため、令和 2 年度を初年度とする中期経営計画の 2 年目の取り組みを実践した。

令和 3 年度においても、新型コロナウイルス感染症による事業運営への影響は大きく、高齢者施設では陽性者の入院ができず施設療養が求められるなど、介護サービスを提供する職員の心身に大きな負担が生じた。また、事業所によっては行政による運営の休止指示など、福祉サービスの原則である安定的なサービス提供が困難な場面もあった。

感染症の事案においても、被害を最小限に抑えつつ事業の継続あるいは早期復旧を可能にするため、事業継続計画（BCP）の必要性を再認識し、策定に向けて検討を行った。

令和 4 年度においては、計画作成に着手し、高齢福祉サービス、障害福祉サービス事業所等において令和 6 年度から義務化される BCP 策定および BCM（Business Continuity Management）の実施に備える。

■ 人材確保・育成・定着

人材確保では、オンラインを中心とした就職活動が定着したものの、学生にとっては法人理解が深まる対面の施設見学や説明会のニーズは高く、希望に合わせて参加方法が選択できるように取り組み、おおむね採用目標人数の確保が図れた。

人材育成では研修計画に基づき、それぞれのキャリアパス階層に対応した階層別研修を実施した。新型コロナウイルス感染状況に注視して、研修の企画を進めたが、職員からはオンライン開催を望む声も多く、対面とオンラインを併用した研修を開催した。

令和 3 年 12 月には、第 2 回法人内研究大会を開催し、各部門から幅広く 12 題の内容が発表されたことで、専門性の向上、事業運営の学びを得る機会となった。研究大会の 3 年目を迎える令和 4 年度は、開催内容を見直し、より学びに繋がる機会として実施する。

人材定着では、新入職員を指導する職員の指導力向上、新入職員の離職防止に向け、適性検査の結果を活用した OJT 指導の研修を実施し、職員の定着率向上を図る取り組みを実践した。



■ 業務改善の推進

令和 3 年度も、職員の業務負担の軽減、生産性の向上および経費削減のために業務改善の推進を図った。法人全体では、車両の給油契約の調査を行い、契約先を変更することで大幅な固定経費の削減に努めた。各部門においても様々な取り組みを行い、高齢事業では昨年度に続き、補助金を活用し

て、機器（見守り支援システム、職員間のコミュニケーションツール、移乗サポートロボット等）を導入したことで業務負担軽減の取り組みを実践した。

保育事業では、安全対策事業補助金を活用し、園児のうつ伏せ寝を検知する「午睡センサー」を導入し、さらなる安全の確保と保育者の負担軽減を図った。

さらに、障がい者支援事業（西宮地区）においても、安否確認システム導入による職員、利用者への効率的な連絡手段の確立や、業務支援ソフト（クラウド型）の導入による情報集約など、BCPの観点でも重要とされる情報管理を整備した。令和4年度においても、積極的な業務改善を図り、働きやすい職場環境を実現する。

■ QMS 活動

法人独自の業務改善「QMS 活動（クオリティー・マネジメント・システム）」では、5つのQMS推進チーム（サービス改善・品質方針・人材育成・内部監査・文書管理）が、より効果的に活動を発揮できるよう取り組みを行った。内部監査チームが、各推進チームの課題や改善提案を抽出することで、活動の好循環が生まれつつある。

令和3年度は、各推進チームの管理者のみで構成したミーティングを行い、今後のめざすべきQMS活動の方向性や、課題克服に向けて部門間の連携・協力について意見交換を行い、活動の独自性を高める検討を行った。令和4年度においても、部門関係を強化して活動に取り組む。

■ ひらかた聖徳園 高齢在宅事業の再編・強化

高齢在宅事業において、様々な変化によって収支状況の厳しい環境ではあるが、地域福祉の充実、安定した財務基盤の構築を図るため、「ひらかた聖徳園 高齢在宅事業の再編・強化」に取り組んだ。

1. 「ひらかた聖徳園デイサービスセンター」を「ひらかた聖徳園デイケアセンター」に統合し、利用定員を拡大するため、フロアの拡張工事、浴室新設工事を実施（令和3年11月）



↑デイケアフロアと理学療法室をワンフロアに整備し、利用定員を46名から65名に拡大。



↑浴室を新設し、機械浴を2台、一般浴を4台設置。すべて個室でプライバシーが確保された空間。



↑十分なスペースと手すり等を備え、様々なADL（日常生活動作）の方でも使いやすいトイレ。

2. 香里丘デイサービスセンターフロア改修、浴室改修工事の実施（令和4年1月）



↑浴室のタイル、壁材を張り替え、リフト浴機器、ストレッチャー浴槽を更新した。個人の身体状況に合わせて柔軟に対応できる浴槽になった。



↑フロアと各部屋の間仕切りを一部撤去したことで、開放的な空間に生まれ変わった。個人のニーズに合わせた活動ができる空間になった。



↑大阪大学の認知症研究に協力する「アルクダケ」を設置。歩行運動と計算問題を同時に実行するデュアルタスクで認知機能の経過を観察する。

3. 旧ひらかた聖徳園デイサービスセンター事務所改修工事の実施および建物の名称を「ひらかた聖徳園ホームケアセンター」に変更。訪問看護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業の事務所移転（令和4年3月）。



↑高齢者在宅支援の拠点として、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業を集約した。



↑1階の「拠り所ふらっと香里の丘」。地域の方々も利用でき、様々な用途を想定したフリースペース。



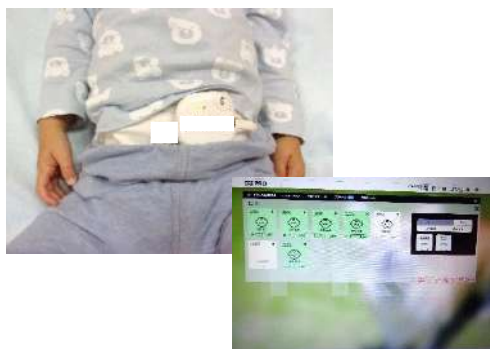
↑2階の訪問看護ステーションの事務所。明るく開放的な場所で、アットホームな職場。

■その他の活動実施報告

- ・経営会議（例月開催）、事務長会議（隔月開催）、QMS会議（3ヶ月ごとに開催）
- ・6月：監事監査
- ・10月：内定式
- ・12月：法人内研究大会
- ・3月：就任式

ICT、福祉機器導入による業務改善への取り組み

令和 3 年度も、各部門・施設において積極的に業務改善活動を進め、職員の業務負担軽減、業務効率化につながる取り組みを実施した。そのなかでも、IT・ICT 機器の導入における業務効率化の効果は大きく、職員の精神的・身体的な負担を軽減しつつ、利用者の皆様へ安全で安心な福祉サービスの提供につながることから、機器の導入を推進した。



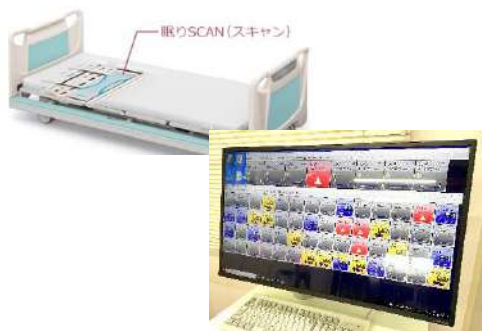
「午睡センサー」の導入(香里敬愛保育所・中振敬愛保育所・みずき敬愛保育園)

乳幼児の睡眠は、うつぶせ寝による窒息の危険性があり、保育士は定期的な確認が義務化されている。より子ども達の安全を確保し、保育士の精神的な不安を軽減するため、「午睡センサー」を導入した。センサーでは子ども達の体の向きを自動検知、チェック表への自動記録などの機能によって、大幅に不安が軽減された。



「移乗サポートロボット Hug」の追加導入(ひらかた聖徳園)

介護者が利用者を抱えない介護(ノーリフティングケア)を推進しており、ひらかた聖徳園では補助金を活用して移乗サポートロボット Hug を追加導入した。ベッド、車椅子、お手洗いの移乗介助と立位保持をサポートすることができ、職員の負担軽減とオムツ対応の利用者がトイレで排泄が可能になるなど、希望に沿った介護サービスが実現している。



「眠りスキャン」の導入(あしや聖徳園、にしのみや聖徳園)

兵庫県労働環境改善支援事業を活用して、睡眠状態や起き上がりや離床を把握できる「眠り SCAN」を導入した(あしや聖徳園 56 台、にしのみや聖徳園 69 台)。利用者の睡眠状況の可視化によって夜勤者の巡視回数の減少のほか、データを分析することで、日中の活動量の工夫に生かすなどサービス内容の検討にも活用できる。



「インカム」の導入(あしや聖徳園、にしのみや聖徳園)

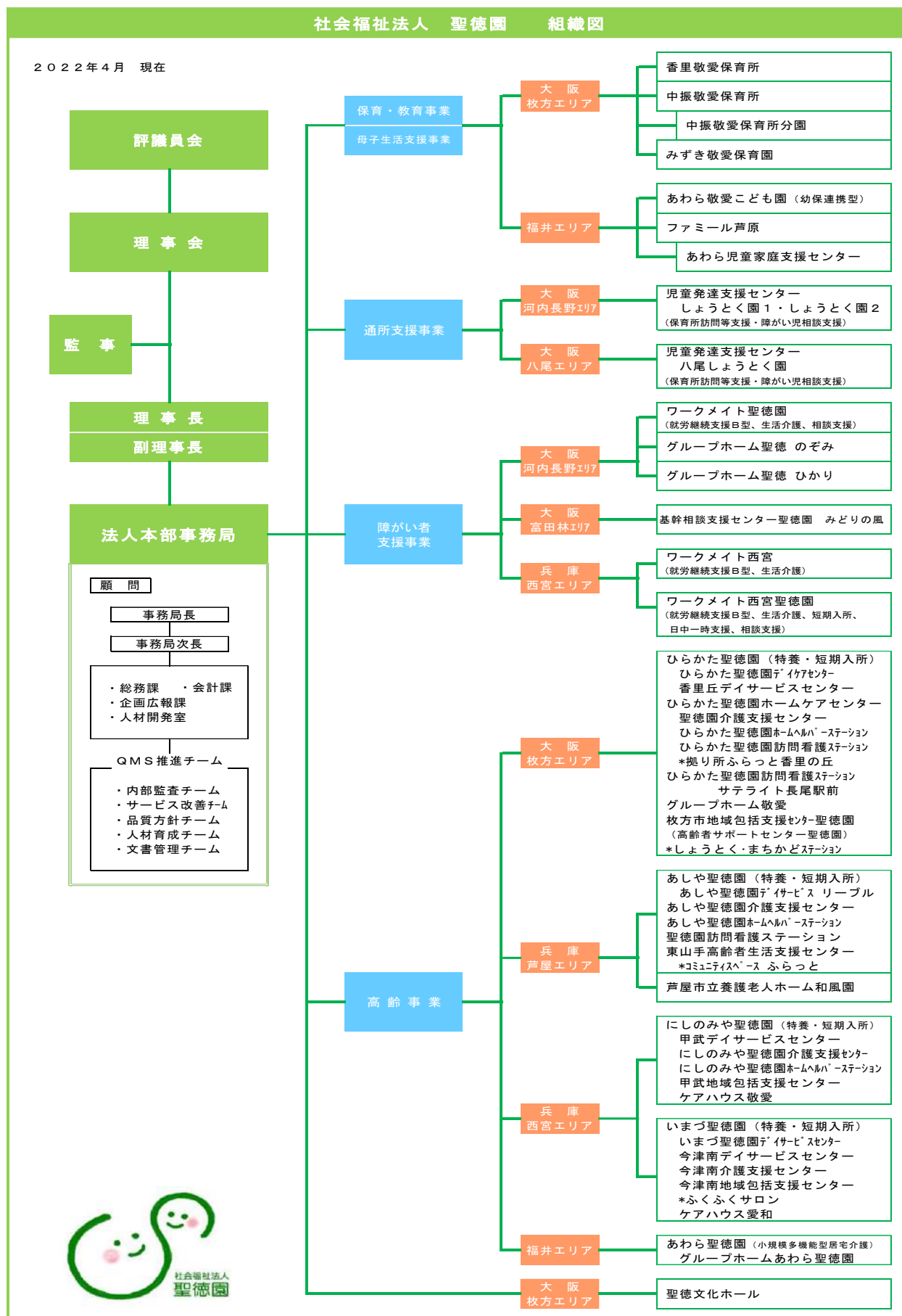
これまで、主な連絡・情報共有の手段は PHS を使用していたが、1 対 1 のツールであることから、利便性に欠ける場面も多く、職員間コミュニケーションに多くの時間を費やしていた。

各聖徳園では、インカムを導入したことで一斉連絡が可能となり職員間のコミュニケーションの効率化が図れている。

地域貢献活動

事業所名	取り組み内容	頻度	参加人数
ワークメイト聖徳園	地域向けのお菓子、植栽商品の販売（就労支援事業） 道の駅にて	不定期	200名
ひらかた聖徳園	開成校区コミュニティ協議会 役員会	毎月	
ひらかた聖徳園	開成元気づくりプロジェクト（開成福祉元気会議）	隔月	
ひらかた聖徳園	香陽元気づくり会議	隔月	
ひらかた聖徳園	元気づくり・居場所づくり支援（三交自治会「エール香陽」）	6回	
ひらかた聖徳園	こもれび体操教室（単発）	8回	
ひらかた聖徳園	ひらかた子ども福祉新聞 vol.2 作成（枚方市社協発行）	－	
ひらかた聖徳園	災害時における施設間での情報交換（枚方市社会福祉施設 地域貢献連絡会）	－	
ひらかた聖徳園	多職種連携研究会（オンライン：地域包括支援センター）	－	
ひらかた聖徳園	地域活動報告（動画：社協フェスタ）	－	
ひらかた聖徳園	福祉なんでも出張相談会（枚方市社会福祉施設地域貢献 連絡会）	－	
ひらかた聖徳園	開成小学校2年生生活科授業（オンライン：開成小学校）	－	
ひらかた聖徳園	開成校区一人暮らし高齢者「新年のつどい」	－	
ひらかた聖徳園	生活困窮者レスキュー事業（おおさかしあわせネットワ ーク）	3件	
あしや聖徳園	「生活・介護相談会」の開催	年4回	延べ5名
あしや聖徳園	介護技術講習会	年2回	延べ10名
東山手地域包括	さくらカフェ（認知症カフェ）	5回/年	延べ40名
東山手地域包括・あしや聖徳 園	男性限定のトレーニング教室「おとこ倶楽部」活動支援およ び参加	月1回	延べ
和風園	フレイル予防のパンフレット	年4回	15名/回
コミュニティスペースふら っと	スペースの利用	月曜～土曜	2090名
にしのみや聖徳園	段上小学校 車イス体験講座	6/22 6/23	80名
いまづ聖徳園	みなとカフェ（認知症カフェ） 地域住民の集い場、相談対応（R4.1～再開）	週1回	6～10名/回
いまづ聖徳園	ふくふくサロン（共生型地域交流拠点 運営サポート）	週5日	15名前後/ 日
いまづ聖徳園	鳴尾中学校2年生対象 出前授業（介護の仕事体験）	年1回	26名

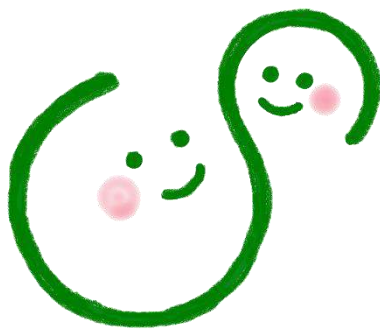
組織図



職員数

施設名	正職員	契約・嘱託職員	派遣職員	非常勤職員	合計職員数
法人本部事務局	3	3	0	1	7
ひらかた聖徳園（特別養護老人ホーム）	72	2	0	77	151
デイケアセンター	13	2	0	10	25
香里丘デイサービスセンター	9	1	0	11	21
グループホーム敬愛	3	2	0	2	7
介護支援センター	9	2	0	1	12
訪問看護ステーション	14	3	0	11	28
ヘルパーステーション	8	5	0	54	67
地域包括支援センター（牧野）	7	1	0	2	10
ひらかた聖徳園 小計	135	18	0	168	321
あしや聖徳園（特別養護老人ホーム）	22	2	0	13	37
デイサービス リーブル	4	2	0	5	11
介護支援センター	6	0	0	0	6
ヘルパーステーション	6	1	0	25	32
訪問看護ステーション	4	0	0	1	5
地域包括支援センター	7	1	0	0	8
和風園	6	3	0	4	13
あしや聖徳園 小計	55	9	0	48	112
にしのみや聖徳園（特別養護老人ホーム）	40	3	0	22	65
ケアハウス敬愛	1	0	0	3	4
甲武デイサービスセンター	7	0	0	13	20
介護支援センター	7	0	0	2	9
ヘルパーステーション	8	0	0	26	34
地域包括支援センター	5	0	0	0	5
にしのみや聖徳園 小計	68	3	0	66	137
いまづ聖徳園（特別養護老人ホーム）	18	3	0	11	32
ケアハウス愛和	1	0	0	4	5
いまづ聖徳園デイサービス	6	0	0	1	7
今津南デイサービスセンター	8	0	0	13	21
介護支援センター	6	0	0	0	6
地域包括支援センター	6	0	0	0	6
いまづ聖徳園 小計	45	3	0	29	77
八尾しょうとく園	23	4	0	10	37
長野しょうとく園（知的）	19	3	0	8	30
長野しょうとく園（肢体）	9	4	0	2	15
長野しょうとく園 小計	28	7	0	10	45
ワークメイト聖徳園Ⅰ（就労継続）	11	1	0	11	23
ワークメイト聖徳園Ⅱ（生活介護）	5	0	0	1	6
ワークメイト聖徳園Ⅰ（相談支援）	1	0	0	0	1
みどりの風（相談支援）	3	0	0	0	3
グループホーム聖徳	1	0	0	16	17
ワークメイト聖徳園 小計	21	1	0	28	50
ワークメイト西宮（生活介護）	6	0	0	2	8
ワークメイト西宮（就労継続）	5	1	0	1	7
ワークメイト西宮 小計	11	1	0	3	15
ワークメイト西宮聖徳園（生活介護）	6	1	0	3	10
ワークメイト西宮聖徳園（就労継続）	7	3	0	2	12
ワークメイト西宮聖徳園（短期入所）	0	0	0	2	2
ワークメイト西宮聖徳園（生活支援）	3	0	0	0	3
ワークメイト西宮聖徳園 小計	16	4	0	7	27
香里敬愛保育所	18	6	1	26	51
中振敬愛保育所	27	14	1	27	69
みずき敬愛保育園	16	10	2	37	65
あわら敬愛こども園	11	1	0	6	18
ファミリー戸原	3	0	0	2	5
あわら敬愛こども園児童家庭支援センター	3	0	0	0	3
あわら聖徳園（小規模多機能）	5	0	0	4	9
グループホームあわら聖徳園	6	0	0	1	7
あわら聖徳園 小計	28	1	0	13	42
合計	494	84	4	473	1055

令和4年3月31日 現在



社会福祉法人 聖徳園

法人本部事務局

〒573-0084 大阪府枚方市香里ヶ丘 4-17-1

TEL : 072-860-3100 FAX : 072-852-3370

<https://www.shotokuen.or.jp>